

令和6年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校

目指す生徒像	清らかで、清潔感にあふれ、真心をもって人や物事に対し、自ら進んで新しい物事に取り組む生徒
--------	--

重点目標	1 習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせる学習指導を推進する	達成度	A	達成できた
	2 生徒が自ら志を高め、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる		B	ほぼ達成できた
	3 自分のよさや可能性の伸長を生徒自らが図ることができる環境をつくる		C	あまり達成できなかった
	4 魅力ある開かれた学校づくりを推進する		D	達成できなかった

A	: 十分評価できる	【A = 3.5以上】
B	: まずまず評価できる	【B = 3.0以上】
C	: 一部見直しが必要である	【C = 2.5以上】
D	: 根本的な見直しが必要である	【D = 2.5未満】

自己評価						学校関係者評価		
番号	重点目標	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	習得と探究のバランスがとれた授業をデザインし、学力が伸びる学習環境をつくる。	①疑問を持つ予習と、定着させる復習を学習習慣にして、自ら学ぶ力と確かな学力を身に付けさせる。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.7	C	・評価を指導に生かす。 ・スタディーサポートとスタディサポートの有効活用。	B	・読書は学びの基礎であり、推進のために様々な仕掛けがあってもよい ・探究型学習が進んでいる。一方で基礎学力の定着も大切である ・ICT活用は重要である反面、教師のリテラシー向上が必須であると考え ・学習はどの学校でも課題であるが、授業改善を進めながら生徒の学習意欲を高めるとい地道な取組以外に改善の方法はない
		②アウトプットを意識させる授業改善を図りながら、探究型学習や探究活動を促進する。	〃	3.0	B	・研究授業・事後研修の充実。		
		③ICTを活用しながら、生徒の個別最適な学びや協働的な学びを支援する。	〃	3.1	B	・ICT活用方法の研究と職員会議等での情報共有の充実。		
		④生徒自身のメタ認知(自分の思考や行動を客観的に把握し認識すること)を支援し、学びに向かう力と人間性を育成する。	〃	2.8	C	・振り返りの有効活用。 ・全校集会や講話等を通じて生徒の意識を変えていくよう努める。		
2	高校卒業後の志を育て、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる。	①新しい価値観や考え方に会える機会を創出し、高い志を育成する。	〃	3.2	B	・オープンキャンパスへの積極的参加の呼びかけ及び新庄北高との進路行事合同開催でさらに機会を創出する。	B	・外部とのつながりは自分自身を成長させる貴重な機会が得られる ・キャリア形成には、他者との関わりも重要だが自分としっかり向き合うこと(内省)が最も重要である ・9割の保護者・生徒が進路指導に満足しているのは一人一人に寄り添った指導のおかげだと思う ・ジモト大学等の外部とのかかわりは生徒にとって自身に対する大きな気づきとなる
		②自己や他者との対話を通して、自身のキャリア形成について深く考える機会を充実させる。	〃	3.1	B	・学年や教務課と連携した探究活動の推進。		
		③生徒自身が自己の伸びや成長を実感しながら進路実現ができるよう、最良の伴走者として、進路指導力の向上を図る。	〃	2.9	C	・研修の機会の創出。 ・下の学年への引継ぎ及び手順の確認を充実させる。		
		④外部の教育資源と生徒をつなぎ、大学等や就職への円滑な移行を支援する。	〃	3.3	B	・ジモト大学を積極的に活用する。また各種体験活動を周知し参加を促す。		
3	人と人との関わりから自分を成長させることができる多様な交流環境をつくる。	①「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」の習慣化により、社会的資質・能力を育成する。	〃	3.1	B	・生徒会執行部の挨拶運動が積極的に行われ学校全体の挨拶の習慣化に繋がっている。次年度は挨拶運動の回数を増やしていく。	B	・問題行動がなく、子供たちは大変落ち着いた学校生活が過せているようだ ・いじめの数が少ないことは評価できる。他者や多様性を尊重する教育の継続を期待する ・左記③の部分への達成感が一番高いことは非常に評価できる。学校の強みとして内外にしっかりアピールできる点である
		②学校づくりへの参画意識を醸成しながら学校行事や部活動を展開することで、学校生活を豊かで充実したものにする。さらに、キャンパス制に係る連携・交流活動を充実させる。	〃	3.2	B	・生徒の参画意識が高く充実感の高い学校行事を実施できているため今後も充実させられるよう継続する。		
		③全ての場面において「自分と他の人の大切さを認める」という人権尊重の精神を貫いた教育を行う。	〃	3.2	B	・いじめ防止アクションを全校生徒に提示し、他者尊重の態度を育成しているためか、いじめ認知件数が少ない。今後も継続していく。		
		④校外活動への積極的参加を推奨し、多様な人々との関わりの中で育つ環境を提供する。	〃	3.1	B	・外部ボランティア団体で活動している生徒が少なくなく、今後も推奨していきたい。		
4	最高の2年間になる学校マネジメントを推進する。	①大学や地域等外部の教育資源を活用した「新たな知や感性との出会い推進プロジェクト」を推進する。	〃	3.3	B	・総合的な探究の時間の有機的な運営。 ・地域における教育資源の有効活用。	B	・大学や地域の外部教育資源を活用することは新たな視点で得られる有効な手立てだと思う ・新庄南では素晴らしい取組や活動を行っていると思うが、中学生やその保護者にはなかなか伝わっていない。配布物等だけでは伝わりにくく、伝え方に工夫が必要である ・校舎が古くメンテナンスが大変だと思うが、安心・安全な教育環境づくりに努めていただきたい ・教職員が心身ともに健康であることが、健全な学校運営にとって最も重要である
		②生徒や保護者、中学生等に「伝わり、届く」情報発信を推進する。	〃	2.9	C	・学校生活の魅力を伝えるための学校パンフレット作成と配布の工夫。 ・HPやSNS等での発信回数を増やす。		
		③安全と安心をベースに生徒の学びと教師の働きを支える学校施設設備の整備・管理を推進する。	〃	2.8	C	・冷暖房環境の充実。安全点検を踏まえた迅速な施設整備。		
		④教職員の「働き方改革」を推進するため、時間外勤務時間を削減できるように業務の見直しを図る。	〃	2.9	C	・昨年度に比べ時間外労働時間が減少したが、一斉退校の徹底や事務的業務の更なる効率化を図る		

学校関係者評価を踏まえた改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・新高校には新庄南の価値を付加した学校づくりを望む ・高校生は最上地域の宝である ・生徒が同窓会館の資料に触れる時間を作っていただきたい ・全体的に内部評価の数値が低い、外部から見て新庄南は生徒が生き生きと学校生活を楽しんでいる印象があり、もっと自信を持って良いと思う
------------------	---